

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 9 月 6 日(2023.9.6)

【公開番号】特開 2023-63457(P2023-63457A)

【公開日】令和 5 年 5 月 9 日(2023.5.9)

【年通号数】公開公報(特許)2023-084

【出願番号】特願 2023-40199(P2023-40199)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/895(2006.01)

10

A 6 1 Q 1/00(2006.01)

A 6 1 K 8/891(2006.01)

A 6 1 K 8/37(2006.01)

A 6 1 Q 1/12(2006.01)

A 6 1 Q 19/00(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/895

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/37

20

A 6 1 Q 1/12

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 29 日(2023.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 化粧品表示名称で定義される、(ビニルジメチコン/メチコンシルセスキオキサン)クロスポリマー、(ジフェニルジメチコン/ビニルジフェニルジメチコン/シルセスキオキサン)クロスポリマー、ポリシリコーン - 22 及びポリシリコーン - 1 クロスポリマーから選ばれ、吸油量が 50 mL / 100 g 以上である高吸油性粉体：30 質量%以下、(b) 揮発性油剤：5 ~ 80 質量%、及び(c) シリコーンオイル及び IOB0.1 未満の低極性油から選ばれ、かつ IOB0.1 未満の低極性油を含む、25 における動粘度が 5 ~ 100 mm² / s の不揮発性油剤を含有し、(a) / (c) で表される配合質量比が 0.37 ~ 2.0 である化粧料。

40

【請求項 2】

(a) 成分の吸油量が 70 mL / 100 g 以上である請求項 1 記載の化粧料。

【請求項 3】

(a) / (c) で表される配合質量比が 0.50 ~ 1.9 である請求項 1 又は 2 記載の化粧料。

【請求項 4】

さらに、(d) (a) 成分以外の粉体を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 5】

(a) 成分と(d)成分との合計配合量が、化粧料中 45 質量%以下である請求項 4 記載

50

の化粧料。

【請求項 6】

(a) / (d) で表される配合質量比が 0.3 以上である請求項 4 又は 5 記載の化粧料。

【請求項 7】

(a) 成分の量が、化粧料中 20 質量% 以下であり、(c) 成分の量が化粧料中 10 質量% 以下である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 8】

(a) 成分が、(ビニルジメチコン / メチコンシルセスキオキサン) クロスポリマーである、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 9】

(a) 成分が、(ジフェニルジメチコン / ビニルジフェニルジメチコン / シルセスキオキサン) クロスポリマーである、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 10】

(a) 成分が、ポリシリコーン - 22 である請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 11】

(a) 成分が、ポリシリコーン - 1 クロスポリマーである請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 12】

(e) 水溶性不揮発性成分の配合量が、化粧料中 12 質量% 未満である請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 13】

(f) 動粘度が 25 で $100 \text{ mm}^2 / \text{s}$ を超える不揮発性油剤の配合量が、化粧料中 5 質量% 未満である請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【請求項 14】

メイクアップ化粧料である請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項記載の化粧料。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

(2) 架橋型オルガノポリシロキサン

架橋型オルガノポリシロキサンとしては、通常化粧品に使用されるものであれば特に限定されず、1 種単独で又は 2 種以上を適宜組み合わせ用いることができる。この架橋型オルガノポリシロキサンは、分子構造中、ポリエーテル又はポリグリセリン構造を有しない化合物であり、油剤を膨潤することにより、構造粘性を有するエラストマーである。例えば、(ジメチコン / ビニルジメチコン) クロスポリマー、(ジメチコン / フェニルビニルジメチコン) クロスポリマー、(ビニルジメチコン / ラウリルジメチコン) クロスポリマー、(ラウリルポリジメチルシロキシエチルジメチコン / ビスビニルジメチコン) クロスポリマー等が挙げられる。これらは室温で液状のオイルを含む膨潤物として市販され、具体例としては、信越化学工業(株)製の KSG-15, 1510, 16, 1610, 18A, 19, 41A, 42A, 43, 44, 042Z, 045Z, 048Z 等が挙げられる。架橋型オルガノポリシロキサンを配合する場合の配合量は、化粧料中 0.01 ~ 30 質量% が好ましい。

10

20

30

40

50